

球磨村村民防災会議

第1回ブロック会議 開催報告

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構

1, 熊本県球磨村のご紹介

1-1, 球磨村の概要

- ・人口 3,918人
- ・面積 207.58km²

1-2, 災害の特徴

- ・球磨川本川と支流の氾濫
- ・山間地域の土砂災害

1-3, 防災対応の懸念事項

- ・洪水、土砂災害双方の対応
- ・道路寸断等による孤立集落の発生



2, 村民防災会議ブロック会議とは

2-1, 背景と目的

球磨村は、球磨川や美しい里山に囲まれた豊かな自然に恵まれている一方で、様々な災害の可能性があります。村民防災会議では、村民のみなさんが感じている不安なことについて話し合い、いざとなった時に安全に行動できる様に何が準備出来るか考える場です。

ひとりひとりの**自分の命は自分で守る**という防災意識を高めていくことで、村民のみなさんと考え、みなさんと作る**防災ひと・まちづくり**を目指す。

3, 第1回ブロック会議

3-1, 主な議題

- ・ ブロック内の危険個所について
- ・ 防災対策での悩みについて

3-2, スケジュール

8月30日(火) : 神瀬地区、31日(水) : 渡地区、9月1日(木) : 一勝地区、
2日(金)三ヶ浦地区、5日(月) : 高沢地区

3-3, 参加機関

球磨村、八代河川国道事務所、川辺川ダム砂防事務所、
NPO法人環境防災総合政策研究機構

4, 会議結果

4-1, 避難にかんする不安な点

主な内容	不安な点(抜粋)
意識	億劫になることで避難が遅れる、一人暮らしの方へのサポート、早期に避難する意識が低い
インフラ	(災害時は)停電で水道水が出ない、食事が不安、国道が冠水すると車で移動出来ない、停電の復旧に地域差がある
情報	道路の被災情報が入りにくい、細かい雨量の情報が欲しい(ゲリラ豪雨)、停電時は防災無線が使えない、情報が多いと混乱する
避難	避難先の公民館に土砂災害の危険がある、避難所への迂回路が分からない、避難所までが遠い、どこまで避難すればよいのか?(村内・村外)、避難所の駐車場
支援	(台風が近い時の)子どものスクールバス、お年寄りを避難させる時が不安、民生委員の人手が足りない
その他	孤立した時の準備について、負傷者が出た際はヘリポートが必要

4-2, 会議の様子

